

資料２．研修到達度の指標となる診療技能

「小児科医の到達目標」平成14年2月1日改訂（日本小児科学会雑誌Vol.106, No.8, 1064-1096, 平成14年）

に準拠して、各分野の中から経験の目安となる手技を列記した。

分野	手技	自らが中心で行った		指導医と共に参加した		他の医師の手技を見た	
		自己評価	指導医	自己評価	指導医	自己評価	指導医
救急と一般（新生児含む）	気管内挿管						
	中心静脈ルート確保						
	経末梢的中心静脈カテーテル挿入						
	動脈ルート確保						
	腰椎穿刺						
	胸腔穿刺						
	腹腔穿刺						
	人工呼吸管理						
	経静脈（中心静脈）栄養						
	予防接種						
新生児	採血（動脈、静脈、踵）						
	静脈ルート確保						
	臍動脈、臍静脈カテーテル挿入						
	交換輸血						
	頭部エコー						
内分泌	各種負荷検査						
消化器	消化管造影						
	胸腹部CT, MRI検査						
	腹部エコー						
	腸重積の非観血的整復						
循環器	除細動						
	心エコー						
	心カテーテル検査						
	心電図判読						
血液・腫瘍	骨髄穿刺						
	骨髄像の評価						
	輸血						
腎・泌尿器	腎生検						
	逆行性腎盂造影、静脈性腎盂造影						

神経	腎エコー						
	腹膜透析						
	血液透析、血漿交換						
	脳波判読						
	頭部CT，MRI 読影						